



成長

教会標語

日々新たにされる私たち

(Ⅱコリント5: 17)

編集 < 総務 >

発行人 西村 敬 憲

発行所 岡山市東区

西大寺中野 543-2

日本同盟基督教団

西大寺キリスト教会

電話(086) 943 - 7552

この夏、わたしたち二人住まいの老夫婦の家に、娘と孫娘の三人が訪ねて来てくれました。台風一〇号接近の余波を受けて、新幹線計画運休で急遽高速夜行バスに変更して来ました。四、五日の滞在はうれしい時でした。娘の主人、佐野泰道牧師の配慮と手配によってできたそうです。次の週、東京の長男が、学会のセミナー出席を兼ねて岡山に帰省しました。わずかに二、三日のことで、それも我が家には宿泊だけの帰省でした。娘たちも長男も帰省中私たち老人ができないことを見つけて手助けしてくれました。以上は、「我が家の三世代の今！」についてでした。感謝なことに、年老いた私たちを気遣ってくれたのです。

ところで今回の話題は、西大寺教会の霊的世代のことです。聖書は、アブラハム世代・イサク世代・ヤコブ世代という父祖の時代がありました。仮のたとえですが、西大寺のアブラハム世代は佐藤邦之助先生の時代でしょうか。するとイサク世代は鈴木一郎先生です。其の指導の下にあった武田克人先生、北尾欣三先生、小山潔隆先生たちの併せて約一〇年間はヤコブ世代でしょうか。そうだとすれば、私・五〇年猶予の赤江の牧師時代はエジプトと出エジプトから荒野の旅の時代と言えるかもしれません。その旅の約半分と、約束の地カナン入国の長きにわたる西村敬憲牧師との共同牧会時代が現在でしょうか。そして数年前に主任牧師を交代しました。

しかし、それに加えて確かなことはいつの時代にもその時代のリーダーたちがいました。教職・信徒リーダーの群像が男女を問わず存在し、それぞれの時代のトップリーダーと共に、力を合わせて主の群れを導いてきました。教会役員会時代の働き、各会幹事の働きからやがて長老・執事・各会幹事とそれぞれの時代の全ての信徒たちの協力一致があったのです。私たちの教会の霊的世代の育成が実ってきたのは、主の祝福の約束が実現してきた証です。

今回、一月の教会総会で可決された建議案に基づいて、まず執事の選挙が行われようとしています。理由は、信徒の執事経験者を増やすことにより、宣教、教育、奉仕など、教会の使命を果たすために必要な部分を強くし、より主のみこころにかなった教会となるためです。一〇年以上、執事職を務められた方々のヨベルの休息の時にもなります。主の教会は、世代を超えて信仰が継承されていくことが難しいのです。キリストの救いにあずかった私たちは、自分が救われて良しとするだけではなく、信仰が受け継がれていくことに心を配らなければいけません。それは肉の家族に対しても、霊の家族に対しても必要なことです。

イエス・キリストの異邦人への使徒パウロは、テモテを「信仰による、真のわが子テモテ」(「テモテ一・二」と呼んでいます。そして彼にこのように勧めています。

「ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。」

パウロは、テモテが「次の世代を育てるように」と励ましています。パウロにとつての霊的第三世代に当たります。パウロはここで三つのことをテモテに伝えています。

一・恵みによって強くなりなさい。・私たちの霊の目が開かれると、神の恵みに目が留まるようになりません。次世代を育てるとき、様々な意味で自分自身が問

「霊的世代の育成を目指しつつ」



牧師 赤江 弘之

※ 次ページへ

ティーンズバイブルキャンプに参加して

原 響

私は、八月五日から八日にティーンズバイブルキャンプに行きました。

ティーンズバイブルキャンプは、中学生から高校生までの、西大寺キリスト教会をはじめ様々な教会から集まった学生たちが、三日間を通していろんなプログラムの中で仲良くなっていたり、神様の言葉に触れ、グループで分かち合いをして信仰を深めていたりするキャンプです。

今回は講師として本馬信義先生をお招きし、聖書から御言葉を受けました。

最初は知らない人もいて緊張しますが、一緒に協力しながら関わるうちに、最終日には仲良しになつていきます。

私がこのキャンプで一番印象に残った、楽しかったプログラムは、びしょ濡れハイクとゴスペルタイムです。

す。

びしょ濡れハイクではチーム対抗戦で、水鉄砲で撃ち合ったり、水風船を投げたりして、びしょびしょになるまで濡れて楽しめます。ラストのほうには、牧師先生方々をみんなで囲み水をぶっかける、というとても面白いことをしました。

ゴスペルタイムは、みんな全力で賛美をします。本当に盛り上がりすぎて熱気がすごかったです。ジャンプをしたり会場内を走り回ったり激しいダンスのものもあり、賛美が終わったあとには息切れするくらい疲れました。

今回のテーマソング、「最高の友達」も楽しいダンスがあつて、みんなでわちゃわちゃしながら賛美しました。

これほど楽しんで賛美で

きるの、ティーンズバイブルキャンプのすごくいいところだと思います。

賛美の後のメッセージでは、自分は神様に愛されていること、自分から神様の元へ行けなくても神様から来てくださることなど、たくさん大事なことを聞きました。

私自身、改めて神様から愛されていることを認識できましたし、とても楽しかったのでキャンプに行けてよかったです！



今回のキャンプで神様のことを聞き、救われた人がいたら嬉しいです。

もし来たことがない中学生、高校生がいるのなら是非一度でも来てみてください！必ず楽しいものになります！



※

われ、扱われます。神の恵みによって強くされる必要が起こります。

二、教える力のある信頼できる人たちが……信頼できる人、自分が信じるだけでなく人にも伝えることのできる人を神は備えてくださっています。その人たちが誰なのかを見極めるのです。

三、私から聞いたことを委ねなさい……その人たちにパウロから聞いた福音を委ねていきなさい。主への信頼に基づく、大胆な決断です。責任を取る覚悟が求められます。

今、私たちの教会はコイノニアグループ活動を、再構築してこうと取り組んでいます。これはまさにみことばに基づく霊的世代育成に取り組む働きです。アブラハムに約束された神の祝福が、日本においても豊かに受け継がれ、広がっていくように、この西大寺の地で、ビジョンの実現を信じて取り組んでいきましよう。

木下美穂リサイタルを終えて

原 千 春

木下美穂さんは、高校の同級生であり三浦綾子本の愛読者であり、大学生の時に伝道した親友です。西大寺教会で受洗し、今もベルリン国立歌劇場で活躍する歌手です。昨年、彼女から、「教会で歌いたい。コンサートをしたい。」と話があり、西村先生に相談をしました。コンサート企画、運営すべて、委員会主催ですることになり、純粹なクラシックコンサートに対して経験も素養もない自分には出来ないかと落ち込みました。しかし、頼れる兄弟姉妹で委員会の仲間を求めて祈りました。蓮井智子姉、佐中久美子姉、そして三宅章之長老でした。すぐに、コンサートに向けてチラシ作り、プログラムなどの日程を計画し、色々教えてくれたのは蓮井姉。佐中姉はピアニストの東儀さんの対

応をして下さり、私が抜けている部分を助けて下さいました。三宅長老は、初の委員会主催の教会使用での、有料コンサートを無事に乗り切るために判断、知恵を下さいました。毎月の委員会の議事録を作るのは私でしたが、ベルリンとの時差のある美穂さんからのラインやメールを基に進めていきました。みんなの助言に支えられました。教会援助がないため、チケットを売る事は高いハードルでした。しかし、美穂さんからの選曲にキリストの十字架、救い、悔い改めがテーマとなるマタイ受難曲などがあり、信仰が中心となる旨を聞き、成功させたいと意欲がわきました。岡山大同窓会報へのチラシ挟み込みによる関係者や、恩師からも予約が入りました。未信者の家族や友人、知人への教会案

内も込めた良い伝道に用いられました。結果、半数を超えた未信者で占められたコンサートとなりました。本番一か月前を切った時の事、美穂さんから、バイオリンとチェロの奏者調達の依頼連絡が入りました。同窓会の代表の方や蓮井姉、佐中姉は知りうる情報を用いて探してくださいました。間に入った私は、すさまじいラインのやり取りの中で、最高の出演者が決まりました。安心する間もなく、美穂さんと東儀さんの二人が感染症に罹患し、頭を抱え、茫然自失のときがありました。それでも、回復の道が開かれ、素晴らしいコンサートになり、初めてのクラシックコンサートに来場された方にも高評価だったことは言うまでもありません。収支も守られました。一生懸命だけが取り柄の私でしたから、教会の先生方、兄弟姉妹の祈りと支え、励ましは感謝しかありません。多くの苦勞を共にした委員会のメンバーの皆様、三宅長老の言葉をお借りすれば、年齢という欠点以外は

素晴らしい委員会でした。ハレルヤ！



コイノニアリーダー会

早見 真生

コイノニア活動リーダー会は、文字通りコイノニア活動のリーダーや希望者の方が集まる学びやディスカッションの場です。コイノニア活動のビジョン、聖書を自分の生活にあてはめていくことなどのテーマで学んでいます。ご興味のある方はぜひご参加ください。ここで改めてコイノニア活動についてご紹介させていただきます。イエス様を中心とした少人数の集いです。グループによってやり方は様々ですが、一緒に聖書を読み、みことばから感じたことや受けた恵みを分かち合い、お互いを大切に、祈りあうといった時間を定期的にもっています。イエス様の救いを受け入れて受洗しても、私たちの現実には変わらないことも多いと思います。人間関係(家庭、職場、友人など)、仕事の

こと、学校のこと、将来の不安など、人生は喜びも多いですが悲しみや悩みも多いためです。イエス様を信じてクリスチャンとなったことで受ける大きな恵みは、私のすべてを理解し愛して、離れることなくいつもともに歩んでくれる存在がいるということだと思います。そして、具体的な導きと未来への希望が与えられることだと思います。ただ、イエス様は目に見えないので、時々わからなくなったり、遠く感じてしまうこともあるのではないのでしょうか。コイノニア活動は、聖書を読んでもわかちあうといったことで堅い印象を受けるかもしれませんが、イエス様は私たちの日常にとっても興味をもたれています。聖書に書いてあることは表現が難しいですが、私たちの毎日に密接に関わっているのです。

なので、学ばないといけない、自分自身のことを思い巡らす時間なのです。そこにイエス様の視点を聖書から受け取っていくのです。こういう時間って実はとても貴重です。雑談でもないので、その場の空気とかノリとかに振り回される必要もない。心を開いて、自分が受けた恵みを話し、相手の話を聴く。そこに聖書のみことばから、イエス様がどう語っておられるのかともにきいていく。安心して自分らしくいられる、そんな時間です。回数を重ねるほど深められていきます。みことばを生活の中で実践すること、祈ったことがきかれることなどを通して、イエス様は生きておられるにも歩み助けてくださっていることが自分の分かち合い、メンバーの分かち合いから知ることが出来ます。喜びの時間です。

教会にグループ登録することについてはしなくてもいいですが、登録するのは、オフイシャルにグループメンバーに対して、ともに歩

んでいきますよ。という思いを表明するという意味もあると思います。ただ縛られる必要はありません。活動を休止したり、解散するグループもあります。それぞれの事情にあわせて行っていますので、気軽に参加してみてください。

リーダー会は、コイノニア活動ってなにをしたらいいのか、その時間がさらに豊かななるにはどうしたらいいのか、などを一緒に学んでいます。こちらもお気軽にのぞいてみてください。

青山学院大学ハンドベル・クワイアコンサート



2024年9月8日(日)